

## 「少年の主張」・中学生話し方大会 2021 の結果について

### 1 大会趣旨

国際化、情報化が急速に進み、環境が目まぐるしく変化する現代社会において、時代を担う子供たちには、論理的に物事を考える力、自分の主張を正しく伝える力、広い視野と柔軟な発想や創造性などを身につけることが求められている。

この大会は、中学生が話すことによって伝える力を育み、学び合う機会となるとともに、意見発表を通して、中学生への理解と認識を深めてもらうことをねらいとする。

### 2 主 催

公益社団法人青少年育成広島県民会議、広島県中学校話し方連盟  
独立行政法人国立青少年教育振興機構

### 3 開催日

令和3年9月4日（土）※動画による審査

### 4 対 象

広島県内の中学生（参考：応募総数 3,162 点から書類選考により大会出場者 16 名選抜）

### 5 受賞者

#### （1）東広島市代表

広島県知事賞 志和中学校 三好 百恵

（令和2年度 HIGASHIHIROSHIMA 『少年の主張』最優秀賞受賞）

基準特別賞 西条中学校 松浦 秀直

（令和2年度 HIGASHIHIROSHIMA 『少年の主張』審査員特別賞受賞）

#### （2）全体

賞	中学校	学年	氏名
広島県知事賞	東広島市立志和中学校	3	三好 百恵
公益社団法人青少年育成広島県民会議会長賞	大崎上島町立大崎上島中学校	3	小林 千夏
広島県中学校話し方連盟会長賞	広島市立祇園中学校	3	寅田 悠月
国際ソロプチミスト広島会長賞	広島市立大塚中学校	3	郷田 果歩
広島清流ライオンズクラブ会長賞	三次市立三次中学校	3	舛田 咲
優良賞	—	—	10 名
基準特別賞	東広島市立西条中学校	3	松浦 秀直

### 6 その他

広島県大会で広島県知事賞を受賞した者を11月14日開催予定の「少年の主張」全国大会に推薦する。

## 7 発表内容

### (1) 広島県知事賞 志和中学校 三好 百恵

題名：認め合うことの本質

#### 内容

自分自身が中国人と日本人のハーフである経験をもとに、差別や偏見をテーマにした内容。

三好さんは、友人から「中国人は虫を食べるのか」という質問を受け、「そんなわけないじゃん」と言い返した。しかし、実は中国では虫を食べる地域があり、自分が無意識のうちに虫を食べることは汚いという偏見を持っていたことに気が付いた。この経験から、新型コロナウイルスや、外国の人に対してなど、自分が気付いていない偏見を持っていることはないか、認め合うことの本質を見ることの大切さを訴えた。

### (2) 基準特別賞 西条中学校 松浦 秀直

題名：魅力発信 僕たちの住む西条の誇り

#### 内容

酒蔵通りの子どもボランティアガイドとして活動する自分自身の経験をもとに、西条の魅力や、「誇り」という言葉の意味や、「誇り」をつないでいくことの重要性をテーマにした内容。

活動を通して、「誇り」とは、その人やその場所でしか体験できないこと、感じられないことを大切に思い、そのことを素晴らしいものだと感じることであることに気付かされ、その誇りを伝えていくガイドの仕事の重要性、誇らしさを感じ、それらをつないでいきたいという思いを訴えた。